

6 住宅・土地所有の概況

世帯の現住居所有率は 60.95%

普通世帯における住宅と土地の所有状況をみると、住宅を所有する世帯が 441,000 世帯、土地を所有する世帯が 426,000 世帯で、それぞれ普通世帯の 63.54%、61.38%となっている。

住宅を所有する世帯のうち、現住居を所有する世帯が 423,000 世帯、現住居以外の住居を所有するのが 58,000 世帯で、それぞれ普通世帯の 60.95%、8.36%となっている。

また、土地を所有する世帯のうち、現住居の敷地を所有する世帯は 403,000 世帯、現住居の敷地以外の土地を所有する世帯は 170,000 世帯で、それぞれ普通世帯の 58.07%、24.50%となっている。

住宅を所有する世帯の割合について平成 20 年と比較すると、平成 20 年 64.12%、平成 25 年 63.54%となっており、0.58 ポイント低くなっている。

また、土地を所有する世帯の割合について平成 20 年と比較すると、平成 20 年 60.80%、平成 25 年 61.38%となっており、0.58 ポイント高くなっている。

<図 34, 図 35, 表 28>

図 34 住宅を所有する世帯の割合

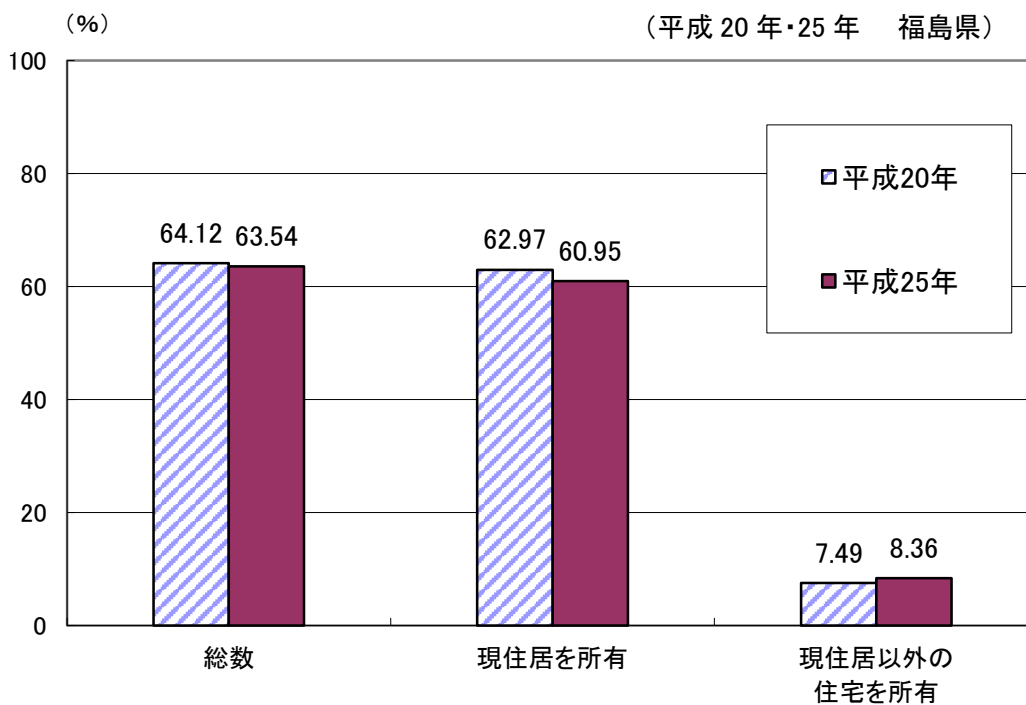
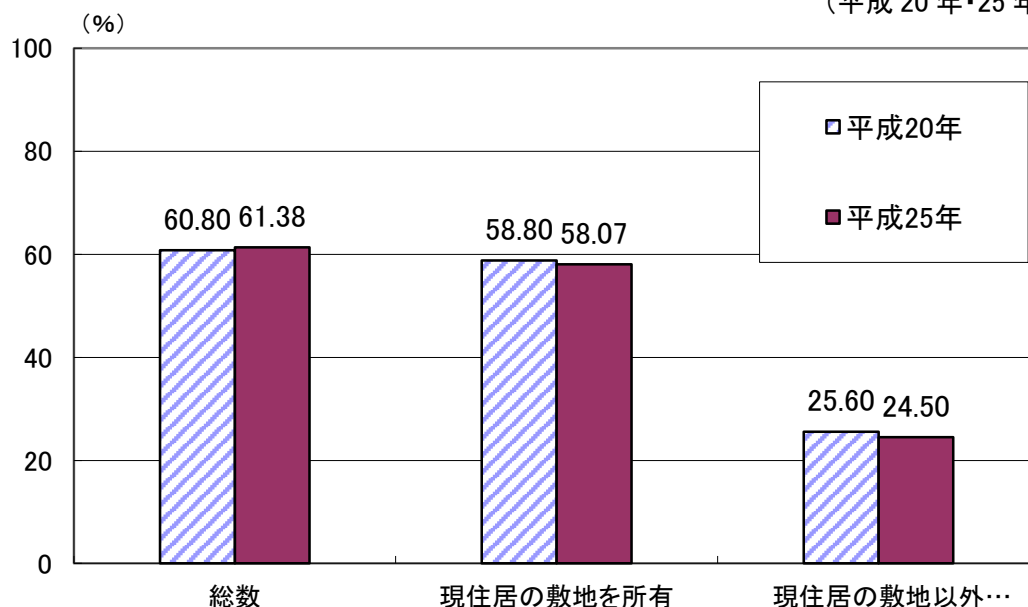


図 35 土地を所有する世帯の割合

(平成 20 年・25 年 福島県)



年収の高い世帯で住宅と土地の所有率が高い

世帯の年間収入階級別に住宅・土地の所有率をみると、基本的に年間収入階級が高くなるに従い所有率が上昇している。現住居以外の住宅及び現住居の敷地以外の土地についてみると、「300万円未満」の収入階級の世帯では、所有率がそれぞれ 5.22%、20.15%となっているが、「500～700万円」の収入階級の世帯では、それぞれ 12.00%、30.00%、「1,500万円以上」の収入階級の世帯では、それぞれ 25.00%、50.00%となっている。

<表 28> 表 28 世帯の年間収入階級、住宅・土地の所有状況別 普通世帯数<乙>

(平成 25 年 福島県)

	世帯総数	住宅を所有している世帯			土地を所有している世帯			いずれも所有していない
		総数	現住居を所有している	現住居以外の住宅を所有している	総数	現住居の敷地を所有している	現住居の敷地以外の土地を所有している	
総数	694,000	441,000	423,000	58,000	426,000	403,000	170,000	208,000
300万円未満	268,000	146,000	143,000	14,000	142,000	136,000	54,000	105,000
300～500	198,000	134,000	129,000	17,000	131,000	125,000	47,000	75,000
500～700	100,000	74,000	70,000	12,000	72,000	67,000	30,000	22,000
700～1,000	64,000	55,000	51,000	11,000	53,000	49,000	26,000	7,000
1,000～1,500	25,000	22,000	21,000	4,000	21,000	20,000	10,000	2,000
1,500万円以上	8,000	6,000	6,000	2,000	6,000	6,000	4,000	0
割合 (%)								
総数	100.00	63.54	60.95	8.36	61.38	58.07	24.50	29.97
300万円未満	100.00	54.48	53.36	5.22	52.99	50.75	20.15	39.18
300～500	100.00	67.68	65.15	8.59	66.16	63.13	23.74	37.88
500～700	100.00	74.00	70.00	12.00	72.00	67.00	30.00	22.00
700～1,000	100.00	85.94	79.69	17.19	82.81	76.56	40.63	10.94
1,000～1,500	100.00	88.00	84.00	16.00	84.00	80.00	40.00	8.00
1,500万円以上	100.00	75.00	75.00	25.00	75.00	75.00	50.00	0.00